日本観光研究学会・関西支部ニューズレター

観光学

第8号 ２０１９年度
（２０２０年3月発行）

JITR -Kansai
Japan Institute of Tourism Research
No.8

写真：徳島県三好市の秘境「祖谷渓」にあるアレックスカーの宿からの風景（撮影：小長谷）

★日本観光研究学会・関西支部（ＪＩＴＲ－Kansai）ホームページ→【 http://www.kankoryoku.jp/ 】
ニューズレター『観光学』第８号　２０１９年度（２０２０年３月発行）

１．２０１９（令和１）年度関西支部活動をふりかえって（支部長　国枝よしみ）

「大阪・関西万博開催に向けて－観光関連産業は何をめざし準備すべきか－」でスタートした 2019 年。現地研修会では、徳島県にし阿波の方々との交流を通じ、脈々と受け継がれてきた歴史や生活文化を体験することができました。2020 年に入り、突如拡大した新型感染症によって開催予定の地区懇話会が延期となりました。かつてない出来事が続く 2020 年は後に語り継がれる年になると思われます。今年度で 4 年間務めさせていただいた任期を終えますが、皆様の長年のご支援に心より感謝を申し上げますとともに、今後も相変わりませずご支援の程をよろしくお願い申し上げます。

２．２０１９（令和１）年度関西支部活動をふりかえって（副支部長　小長谷一之）

本支部では、地域懇話会等を通じて、関西および中四国の自治体様の地域への貢献を心がけてきました。典型的な住宅都市と思われてきた池田市や河内長野市の観光振興も応援し、今回、有名な工業都市である尼崎市の観光振興も応援しようとした矢先にコロナ禍となり出鼻をくじかれましたが、野外のそぞろ歩き、ニューツーリズムへの構造転換が、今後の方向性かもしれません。今後とも支部活動を宜しくお願いいたします。

３．支部活動１『関西支部総会』＋『第１６回　意見交換会：関西から観光立国・立圏を考える』「大阪・関西万博と観光　ＰＡＲＴⅠ～万博で観光はどう変わるか」（後援：国土交通省近畿運輸局）

【日時】２０１９年５月１１日（土）総会 11:00～11:30、意見交換会 13:00～16:45。【会場】阪南大学あべのハルカスキャンパス。【総会議案】2018 年度活動報告および収支決算、2019 年度活動計画および収支予算の承認。【テーマ】「大阪・関西万博と観光　ＰＡＲＴⅠ～万博で観光はどう変わるか」。【プログラム】（１）支部長開会挨拶（13：00～13：05）国枝よしみ。（２）特別講演（13：05～13：50）『関西における観光政策の現状』国土交通省近畿運輸局観光部長 宮田亮氏。（３）基調講演（13:50～14：35）:『万博で観光がどう変わったか～日本で開催された博覧会と観光の変遷』大阪市立大学大学院都市経営研究科 客員教授／嵯峨美術大学 名誉教授　桑田政美氏（参考文献：日本評論社『博覧会と観光－復興と地域創生のための観光戦略』）。（４）パネルディスカッション（14:45～16:45）『大阪・関西万博開催に向けて、観光関連産業は何をめざし準備すべきか』●パネリスト：一般社団法人 2025 年日本国際博覧会協会 上席審議役　小林宏行　氏、株式会社

ＪＴＢ 執行役員 関西広域代表　宇田川雄彦 氏、日本旅館協会関西支部連合会 副会長／不死王閣 代表取締役社長　岡本厚 氏、2025 大阪・関西万博若者実行委員会 WAKAZO　名誉顧問　塩田悠人 氏、大阪市立大学大学院都市経営研究科 客員教授／嵯峨美術大学 名誉教授　桑田政美 氏。●コーディネーター：日本観光研究学会関西支部 幹事・事務局長／大阪成蹊大学マネジメント学部 教授　松田充史。国土交通省近畿運輸局観光部長の宮田亮氏から基調講演が行われ、府県別の訪日外国人の特徴の違いや度重なる自然災害に向けた対応策などを紹介していただきました。続いて行われた桑田政美氏による特別講演では、日本の博覧会開催の流れを４期に区切ったうえで、当時の社会背景と比較し、博覧会の役割や特徴をお話しいただきました。後半は『大阪・関西万博開催に向けて、観光関連産業は何をめざし準備すべきか』をテーマとするパネルディスカッションが行われました。大阪・関西万博を実験場と捉え、何を生み出していくのか、大阪・関西万博に向けた対応だけでなく、2026 年以降のイメージをどのようにつくり出していくかなど、活発な議論が繰り広げられました。当日は会員、非会員合わせて８３名が参加し、意見交換会終了後の交流会でもさまざまな意見交換が行われました。

４．支部活動２『地区懇話会』は尼崎市での開催を予定しておりましたが、コロナ禍の影響により年度内の開催は中止となりました。

５．支部活動３「観光学研究部会」

（１）第１回観光学研究部会　【日時】２０１９年７月２３日（火）19：00～【会場】大阪市立大学文化交流センター（梅田）【テーマ】「占領下神戸における観光資源としての商業集積のせめぎあい」【講師】村上しほり（むらかみ しほり）氏（大阪市立大学客員研究員、（株）スペースビジョン研究所研究員）。

６．支部活動４「観光サロン」

（１）第１回観光サロン　【日時】２０１９年１０月２９日（火）19：00～【会場】大阪市立大学文化交流センター（梅田）【テーマ】「ＶＲ体験を核としたインバウンド促進による地域振興」【講師】北口真（きたぐち　まこと）氏（NINJA VR KYOTO 代表。「京都府文化力による未来づくり」審議会委員（京都東山区の古川町商店街の空町家を活用し VR 体験を中心とし、地域の生活文化や伝統文化とつながるをコンセプトとした文化体験施設を企画・運営（beyond 2020 認証））。

（２）第２回観光サロン　【日時】２０２０年２月２５日（火）19：00～【会場】大阪市立大学文化交流センター（梅田）【テーマ】「闘争としてのサービス：観光学への含意」【講師】山内　裕（やまうち　ゆたか）氏（京都大学経営管理大学院准教授。京都大学工学部情報工学卒業、京都大学情報学修士、UCLA Anderson School にて経営学博士(Ph.D. in Management)。Xerox Palo Alto Research Center 研究員を経て、京都大学経営管理大学院に着任。主な著書には、『組織・コミュニティデザイン』(共立出版、共著)、『「闘争」としてのサービス-顧客インタラクションの研究』(中央経済社)など)。

７．支部活動５『中四国現地研修会』（にし阿波・「千年のかくれんぼ」ー山間地集落の自然と暮らしを体験！）

【会場】徳島県三好市、祖谷渓地域【日時】２０１９年８月３０日～３１日。【概要】日本観光研究学会関西支部では、中四国研修会を、2014 年度は太平洋岸の高知県（黒潮町の砂浜美術館）、2016 年度は瀬戸内・四国側の愛媛県（三津浜地区・道後温泉・松山市での政策ヒアリングと見学等）、2017 年度は瀬戸内・中国側の広島県（尾道市の町家再生、千光寺山からの坂のまち、しまなみ海道等）、2018 年度は日本海側の鳥取・倉吉・由良エリアで開催してきました。2019 年度の中四国研修会は、四国・徳島県内陸部の「にし阿波」で開催いたしました。全国に 13 ある観光圏の１つ、「にし阿波～剣山・吉野川観光圏」では、地域の人々との上質な交流や伝統文化との触れ合いを軸とした観光地域づくりを進めており、積極的にインバウンドを受け入れてこられました。今回の研修会では、そうした取り組みを進めてこられた徳島県や「ＤＭＯ（一社）そらの郷」、「（株）ちいおりアライアンス」などの事業者、祖谷落合集落の地域の方々などとの意見交換の機会をもうけるとともに、「日本の原風景」とも呼ばれる祖谷渓・落合集落での古民家宿泊を体験しました。関係のみなさまには深く感謝申し上げます（担当、野村佳子、小槻文洋）。

【２０１９年８月３０日（金）】○現地集合：8 月 30 日（金）13 時 40 分、徳島県西部総合県民局三好庁舎。（１）三好市内リノベーション拠点「MINDE」にて昼食。（２）14 時～徳島県県民局庁舎にて、徳島県西部総合県民局観光振興部様、「ＤＭＯそらの郷」様との意見交換会。（３）17 時頃～懇親会（三好市内ひょとこ）。（４）懇親会終了後、タクシーにて祖谷渓に移動。（５）桃源郷祖谷の山里（アレックス・カー氏監修の古民家）に各自宿泊（雲外、談山、天一坊）。**【２０１９年８月３１日（土）】**（１）10 時：チェックアウト。（２）10 時～11 時落合集落重伝建ガイドツアー。（３）11 時～12 時　現地運営組織「ちいおりアライアンス」様との意見交換（事務所のある学校のリノベーション拠点）。（４）12 時頃～祖谷渓でランチ。（５）その後、バスにて 16 時までに阿波池田へ。途中、時間を見て観光資源、かずら橋、吉野川遊覧船等の視察。

８．支部活動６　関西支部幹事会開催記録（２０１９年度）

第１回　２０１９年４月２３日（火）18：30～　会場：大阪市立大学交流文化センター（梅田）
第２回　２０１９年５月２８日（火）18：30～　会場：大阪市立大学交流文化センター（梅田）
第３回　２０１９年６月２５日（火）18：30～　会場：大阪市立大学交流文化センター（梅田）
第４回　２０１９年７月２３日（火）18：00～　会場：大阪市立大学交流文化センター（梅田）
第５回　２０１９年９月２４日（火）18：30～　会場：大阪市立大学交流文化センター（梅田）
第６回　２０１９年１０月２９日（火）18：00～　会場：大阪市立大学交流文化センター（梅田）
第７回　２０１９年１１月２６日（火）18：30～　会場：大阪市立大学交流文化センター（梅田）
第８回　２０１９年１２月２４日（火）18：30～　会場：大阪市立大学交流文化センター（梅田）
第９回　２０１９年１月２８日（火）18：30～　会場：大阪市立大学交流文化センター（梅田）

第１０回　２０２０年２月２５日（火）18：00～　会場：大阪市立大学交流文化センター（梅田）
第１１回　２０２０年３月２４日（火）18：30～　会場：大阪市立大学交流文化センター（梅田）

９．支部活動７　ＮＰＯ法人「観光力推進ネットワーク・関西」の応援と協働

（１）ＮＰＯ法人「観光力推進ネットワーク・関西」今年を振り返って（理事長挨拶）森山正

2019 年度は主要な事業を継続し発展させました。観光マネジメント講座はタスクフォースⅡにより、実績に繋がる集客のマーケティング手法を整えました。また、城崎温泉様と連携しインターンシップを行い、当 NPO 法人内の「学生連絡協議会」加盟の大学から多くの学生が参加しました。著名な平田オリザ氏（劇作家・演出家）の指導のもと、地域活活性化の企画や実践活動に参加し、ひと味違う体験が自己成長に繋がりました。今後も地域振興や人材育成のため積極的な活動を推進致します。

（２）ＮＰＯ法人「観光力推進ネットワーク・関西」今年を振り返って（副理事長挨拶）国枝よしみ

今年も、地域で観光に携わる多くの受講生をお迎えできたことを大変嬉しく思います。ぜひこの講座での学びを実践で活かしていただければと存じます。また、学生協議会の皆さんの多面的な研究発表からは、次第にレベルが向上していることを実感いたしました。今年度で副理事長を退任いたしますが、初期の活動がここまで発展したことに感慨を覚えます。先生方の献身的なご努力に敬意を表し心よりお礼申し上げます。ありがとうございました。

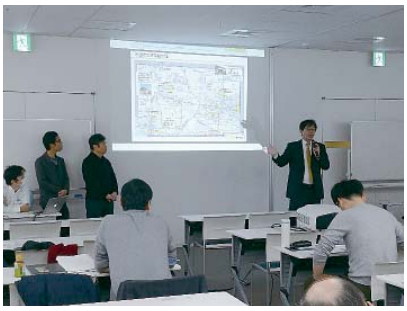
（３）ＮＰＯ法人「観光力推進ネットワーク・関西」これまでの活動（１３年間）を振り返って（副理事長挨拶）福本賢太

これまでのＮＰＯ法人活動（13 年間）を振り返り、「学生連絡協議会」活動に少しばかり貢献でき得たのかなと思っています。本会発足にむけて奔走（2007 年）、当時の活動は、観光を学ぶ多様な学生が交流・啓発しあう「場」（観光体験活動他）形成が中心でありましたが、その後、研究活動発表の「場」（学生研究発表会）を新たに加え、本会活動の変容発展に注力してまいりました。これまで御支援いただきました教員・学生・対外機関の皆様に感謝申し上げます。有難うございました。本年度をもって退任いたしますが、本会活動を含めたＮＰＯ事業活動の更なる進展を願っております。

（４）第１４回「地域創造のための観光マネジメント講座」の開催

【日時】（例年１月～２月の土曜４日間）２０２０年１月１１日、１月２５日、２月１日、２月８日の４日間。【会場】梅田・大阪駅前第２ビル６階大阪市立大学文化交流センター、（最終日のみ）阪南大学あべのハルカスキャンパス（23 階）および市内フィールドワーク。【プログラム】●第１日目１月１１日（土）【ステップ１：地域創造型観光の基盤：地域資源の再発見と再評価の方法】（第１回 10：00～11：10）「「地」の観光としてのエコミュージアム」京都外国語大学特任教授　吉兼秀夫、（第２回 11：10～12：20）「見えない宝を探し、創り出すコンテンツツーリズム」京都外国語大学教授　原一樹、（第３回 13：20～14：30）「宝探しとエコツーリズム」北海道大学客員教授　真板昭夫、（第４回 14：30～15：40）「ヘルスツーリズムと地域創造」流通科学大学教授　辻本千春、（第５回 15：50～17：00）「観光マーケティングの枠組み」大阪成蹊大学教授　国枝よしみ。**●第２日目１月２５日（土）【ステップ２：地域創造型観光の計画：地域資源の観光への活用方法】**（第６回 10：00～11：10）「顧客と地域人材のマーケティング」大阪観光大学特命教授　森山正、（第７回 11：10～12：20）「基本となるサービスとホスピタリティの考え方」摂南大学教授　野村佳子、（第８回 13：20～14：30）「観光マネジメントとまちづくりの計画」（株）地域計画建築研究所（アルパック）主幹　小阪昌裕、（第９回 14：30～15：40）「地域における観光商品づくりと観光事業への活用」阪南大学教授　清水苗穂子、（第１０回 15：50～17：00）「プロモーションとイベントの活用方法」大阪市立大学大学院客員教授　桑田政美。**●第３日目２月１日（土）【ステップ３：地域創造型観光の運営：事業継続の方法】**（第１１回 10：00～11：10）「多様な主体の総合力による観光地域づくり」（株）

地域計画建築研究所（アルパック）チーム長　高田剛司、（第１２回 11：10～12：20）「地域創造を支える観光人材の育成」阪南大学教授　福本賢太、（第１３回 13：20～14：30）「事業推進のための制度の活用と資金の調達」立命館大学客員教授　金井萬造、（第１４回 14：30～15：40）「地域創造型観光のマネジメント－成功事例からみる７つの原則」大阪市立大学大学院教授　小長谷一之。**●第４日目　２月８日（土）【プレゼンテーションと市内フィールドワーク】**（第１５回 11：00～17：00）講師全員および、（株）インプリージョン　森なおみ



（５）学生連絡協議会（学連協）の応援

１）学生連絡協議会総会【実施日】２０１９年５月１１日（土）10:00～【会場】阪南大学あべのハルカスキャンパス【参加】京都外国語大学、大阪成蹊大学、阪南大学、摂南大学、神戸国際大学、流通科学大学、大阪観光大学。【概要】2018 年度活動報告、2019 年度新役員自己紹介、2019 年度活動計画等を行いました。

２）観光カネット・学連協「城崎温泉旅館体験プログラム＋アートワークショップ」【実施日】２０１９年６月８日（土）～９日（日））（城崎温泉関係人口構築委員会共催）参加人員：学生 16 名。集合：阪急３番街　梅田バスターミナル、７時。7 時 20 分大阪発。10 時 15 分城崎温泉着。10 時 45 分城崎国際アートセンターにて平田オリザ先生による講演「観光とアートの親和性」。12 時昼食（参加者との交流）。45 分からは、アートセンター内部を視察（学連協担当：辻本）。

３）観光カネット・学連協「インターンシップ in 城崎プログラム」（若旦那・若女将密着体験プロジェクト）（城崎温泉関係人口構築委員会と豊岡ツーリズム協議会との共催）【実施日】２０１９年８月２１日～２７日。【概要】城崎温泉旅館の皆様のご指導のもと、城崎温泉の各旅館にてのインターンシップを行い、各旅館での体験と地域活性化提案を発表しました。参加人員 17 名。プレゼン内容は、体験旅館の垣根を越えて１チーム４名から５名で１日かけて作成、A～D の４班に分かれパワーポイントを使い発表しました（学連協担当：辻本）。

４）観光力ネット・学連協「【歴史・文化体験】秋の京都ツアー」（京都・嵐山）【実施日】２０１９年１１月９日（土))（１）集合 10:00 大阪在住組：阪急梅田駅集合、京都在住組：阪急嵐山集合、（２）渡月橋、（３）嵐電→金閣寺滞在、（４）金閣寺→嵐山、（５）食事後、（６）工房体験（和菓子作り「甘春堂」)。

５）学生研究発表会【実施日】２０２０年２月１３日（水）11：30～17：30。【会場】阪南大学あべのハルカスサテライト。【概要】学生発表会は、観光力推進ネットワーク関西学生連絡協議会に所属する学生が１年間研究した成果を発表しあう発表会です。今年は最多の合計５大学１３チームが出場しました。【参加】京都外国語大学、大阪成蹊大学、阪南大学、摂南大学、神戸国際大学。

（写真）７．支部活動５『中四国現地研修会』（にし阿波・「千年のかくれんぼ」－山間地集落の自然と暮らしを体験！）

日本観光研究学会・関西支部（JITR-Kansai）ニューズレター『観光学』第８号（２０１９年度）発行：2020 年 3 月 10 日。発行人：国枝よしみ。編集人：小長谷一之。事務局：大阪成蹊大学マネジメント学部国際観光ビジネス学科　松田充史研究室　533-0007 大阪市東淀川区相川 3 丁目 10-62　gakkai@kankoryoku.jp